

## 株式会社エフビーエス

### 2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)

全社版



**FBS**



エコアクション21  
認証番号0013262

作成日： 2024年4月16日

## 目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12



株式会社エフビーエスは、全員が「和」の精神で一丸となって協力し、企業経営を通じ社会の発展と文化向上に寄与することを経営の基本理念としています。安全・安心で高品質な優れた商品を変わらずに作り続ける企業を目指し、私たちの企業活動そのものがC S Rであるという考えのもと、原材料である食糧資源や地下資源を大切に使い、豊かな自然環境を将来の世代へ継承することを責務と考え、持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷の低減を図る為に全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組んで参ります。

## 環境経営方針

### ＜環境経営理念＞

株式会社エフビーエスは食品製造を担う企業として、お客様に喜んでいただける安全・安心な商品を提供することが最重要課題と考えております。さらに深刻化する地球温暖化への対策や貴重な食糧資源・地下資源を大切に使うことが人類共通の重要な課題であることを踏まえ、本業を通じた環境への取組により、自社と社会の持続的な成長を実現する為、全社一丸となって環境経営に取り組みます。

### ＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめ、食品リサイクル率の維持向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 洗浄剤や殺菌剤など適正管理に努めます。
6. 安全・安心で高品質な価値ある商品をお客様に提供します。
7. 朝礼や掲示物を通じて全ての従業員に環境活動を周知します。
8. 会社周辺の環境整備に取り組みます。

制定日： 2020年4月1日  
改定日： 2022年10月1日

代表取締役 板垣 幸彦

## □組織の概要

更新日：2024年1月16日

(1) 名称及び代表者名

株式会社エフビーエス  
代表取締役 板垣 幸彦

(2) 所在地

本社・恵庭工場 北海道恵庭市恵南1番地  
札幌工場 北海道恵庭市戸磯47番7

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役製造部部長 斎藤 仁志 TEL：0123-34-6866  
担当者 管理部部長 橋本 和郎 TEL：0123-34-6868

(4) 事業内容

パン製造

(5) 事業の規模

売上高 44億円 2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）実績

	本社・恵庭工場	札幌工場	合計
従業員名	90名	129名	219名
延べ床面積m <sup>2</sup>	3,249.00m <sup>2</sup>	12,581.28m <sup>2</sup>	15,830.28m <sup>2</sup>

※2023年7月29日十勝工場を閉鎖、札幌工場へ統合

(6) 事業年度

4月1日～3月31日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社エフビーエス  
対象事業所： 本社・恵庭工場  
札幌工場

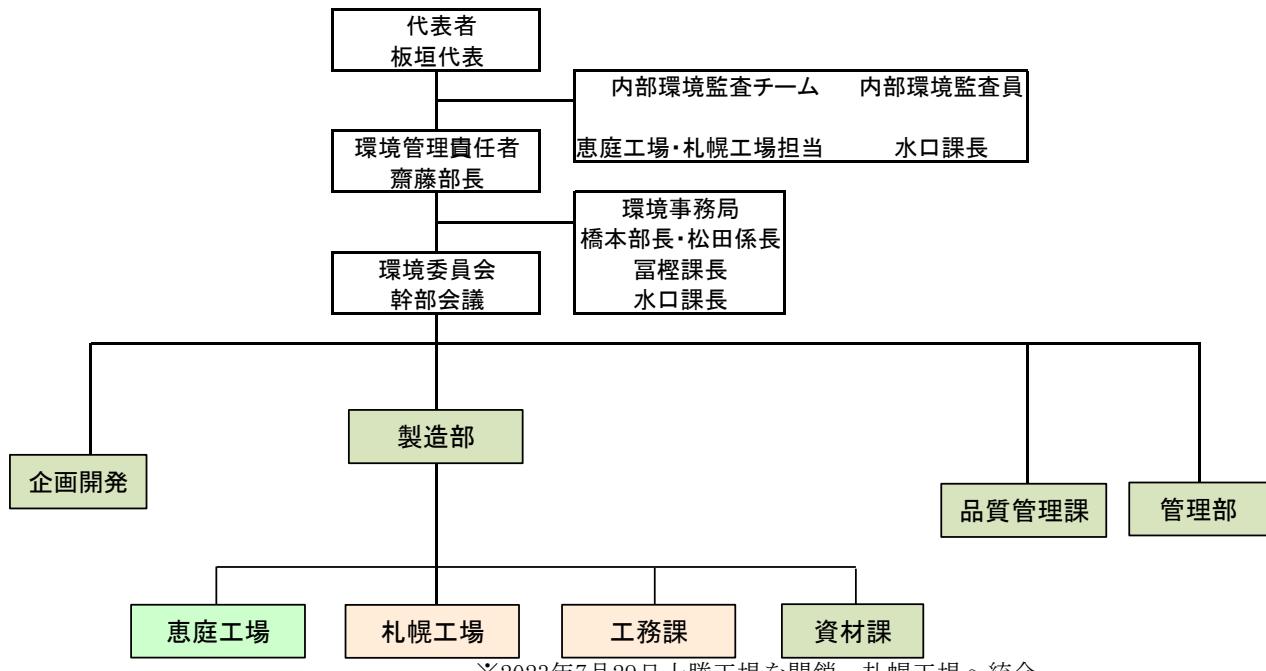
対象外： 対象外の事業所および製品は無し

活動： パン製造

## □事業や製品(商品)の紹介

原材料や製法にこだわったパンのおいしさをお客様へお届けしたい。そんな想いから生まれた「セブン-イレブンのオリジナルパン」。それは、セブン-イレブン・ジャパン様がオリジナルパン事業を展開するにあたり、他のコンビニエンスチェーンとの差別化を図るため、製造してから少しでも早くお店に商品を並べられるよう、1日2回、年中いつでもオリジナルのパンをお客様へお届けすることを目的として、全国に先駆けて創り上げられたシステムです。株式会社 エフビーエス は、F(Fresh) B(Baking) S(Systems) の頭文字が示すとおり、セブン-イレブン・ジャパン様の「オリジナルパン」への想いをお客様へお届けするための橋渡しとして、「安全・安心・品質」にこだわり、たく

北海道内全域のセブン-イレブン様 約1,000店舗向けに、朝夕のピークタイムにあわせて1日2回、原材料や製法にこだわった「セブン-イレブンのオリジナルパン(菓子パン・惣菜パン・食事パン等)」をお店にお届けするため、恵庭工場で製造した冷凍のパン生地を札幌工場へ配達し、そこで製造(焼成)することによって、いつでも30種類以上ものパンの生産を可能としております。エフビーエスの納入先であるセブン-イレブン・ジャパン様は、保存料・合成着色料を使わない食品への取り組みを積極的に推進しているところであり、エフビーエスとしてもHACCPを基準とした食品の衛生管理に努め、食の「安全・安心」への取り組みを実施しています。



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理・遵守評価の実施</li> <li>・環境経営システムの全般的な教育の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長 工場長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
内部環境監査員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に関する内部監査の計画</li> <li>・環境に関する内部監査の実施・報告</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	8,962,358	8,753,548	7,728,300
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	t	176	201	148
廃棄物排出量(売却)	t	394	324	304
産業廃棄物排出量	t	278	241	276
食品廃棄物				
発生量		490	423	423
発生抑制量		0	0	0
再生利用量		490	423	423
熱回収量		0	0	0
減少量		0	0	0
再生利用以外の量		0	0	0
廃棄物処理量		0	0	0
食品再資源化実施率	%	100%	100%	100%
水使用量	m <sup>3</sup>	69,094	63,587	59,085

※二酸化炭素排出係数

0.656 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

北海道電力㈱の平成30年度実績(調整後の係数)

⇒ 焼却量+再資源化量

⇒ 上水量+地下水量

## □環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値(2022年)		2023年		評価	2024年	2025年
				上段 下段 12月末まで	通期			
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	5,598,965	5,542,975	5,238,502	○	○	5,486,985	5,430,996
	基準年度比	2022年	99%	94%			98%	97%
	原単位 kg-CO <sub>2</sub> /個	0.055	0.054	0.057	×		0.054	0.053
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	2,211,542	2,189,427	2,272,925	×	○	2,145,196	2,123,081
	基準年度比	2022年	99%	103%			97%	96%
	原単位 kg-CO <sub>2</sub> /個	0.022	0.021	0.025	×		0.021	0.021
注1 上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	7,810,507	7,732,402	7,511,427	○	○	7,632,181	7,554,077
一般廃棄物の削減(焼却量)	t	55.8	55.3	20.9	○	○	54.7	54.2
	基準年度比	2022年	99%	37%			98%	97%
廃プラの削減	t	134.2	132.8	112.5	○	○	131.5	130.1
	基準年度比	2022年	99%	84%			98%	97%
食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	自主目標		100%	100%	○	○	100%	100%
	食リ法目標		80%	80%	○	○		
水道水の削減(上水量)	m <sup>3</sup>	18,237	18,055	10,691	○	○	17,872	17,690
	基準年度比	2022年	99%	59%			98%	97%
原単位 m <sup>3</sup> /千個	0.180	0.178	0.120	○	○	0.176	0.175	
化学物質の適正管理		行動目標(次項による)						
環境に配慮した生産活動		行動目標(次項による)						

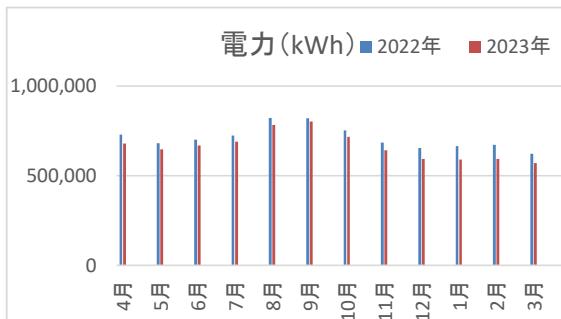
注1 「主な環境負荷の実績」の二酸化炭素総排出量との差異は、重油・LPG・灯油を含んでいないことによる。

## □環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
<b>電力による二酸化炭素削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	当期は、対基準年度および対目標値の両方で、電力によるCO2排出量は削減できた。また、原単位評価では受注個数が減少と十勝工場閉鎖により札幌工場の稼働時間が2時間程延長したこと、対基準年度および対目標値の両方でCO2排出量を削減できなかった。来期は、省エネ最適化診断を受診することで、職場改善を図り排出量削減に取り組みます。
・生産工程の待機時間短縮(生産性3%改善)	○	
・冷生地不良・製造ロス・販売ロス 0.2%改善	○	
・照明をLED化へ変更	○	
・クールビズの1ヶ月延長	○	
・エアコン分解洗浄(2023.6)	○	

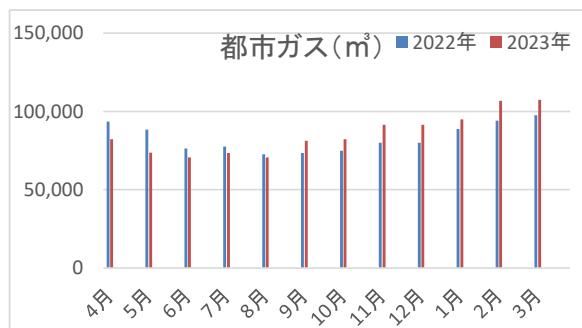


取組紹介欄



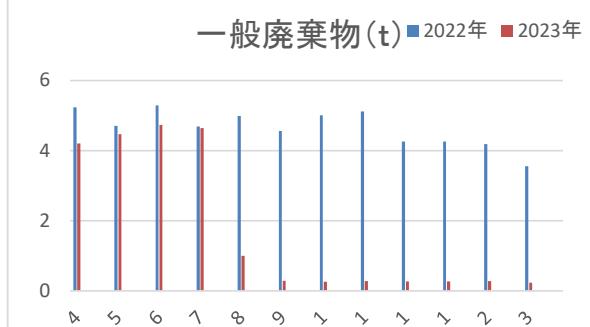
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	730,029	682,052	701,248	723,926	823,621	820,395	752,660	684,963	654,781	666,115	672,768	622,449
2023年	679,367	647,910	668,581	690,976	783,199	803,875	717,011	643,305	594,513	591,093	594,357	571,334

	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
<b>都市ガスによる二酸化炭素削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	当期は、4~8月は使用量削減できたが、十勝工場閉鎖により、札幌工場の稼働時間が2時間程延長したためにCO2排出量が増加した(十勝工場はLPG使用、札幌工場は都市ガス使用)
・ボイラーの空気比の適正管理	○	来期は、ボイラーの適正管理、工程待機時間、ロスの改善に重点
・蒸気・温水配管の保温修理	○	を置いて目標達成に向けて取り組みます。
・温水温度の適正化	○	
・生産工程の待機時間短縮 (生産性 3 %改善)	○	



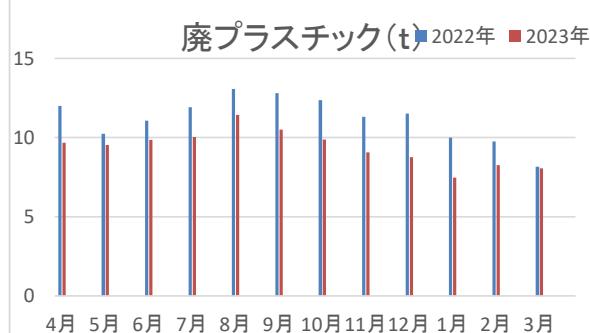
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	93,525	88,409	76,320	77,615	72,568	73,467	74,860	79,960	79,960	88,807	94,197	97,499
2023年	82,223	73,783	70,701	73,559	70,651	81,298	82,320	91,510	91,510	94,848	106,780	107,387

一般廃棄物の削減(焼却量)		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	当期は、対基準年度、対目標値は達成できた。
・分別の徹底		○	来期は、カミナシのシステムを導入することでペーパーレス化による排出量削減に繋げる。
・シュレッダー廃紙のリサイクル化		○	
・裏紙利用の徹底		○	
・廃ダンボールのリサイクル化		○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4
2023年	4	4	5	5	1	0	0	0	0	0	0	0

廃プラの削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	当期は、十勝工場閉鎖により排出量は削減となりました。
・包材発注量の精度アップ		○	来期も引き続き、焼成工場は包材在庫管理の精度向上、包装オペレーションの精度向上、冷凍工場は生地の不良在庫削減に取り組みます。
・包装不良の削減 (オペレーター精度UP)		○	
・分別の徹底		○	
・包材過剰使用率 0.1%削減		○	

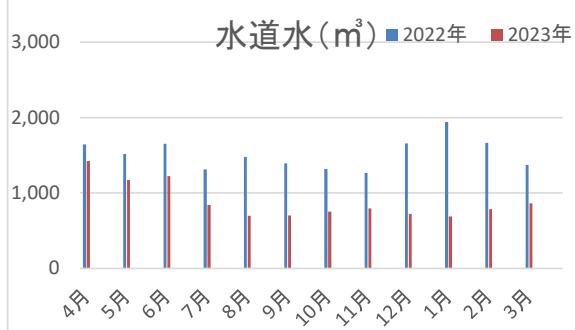


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	12	10	11	12	13	13	12	11	12	10	10	8
2023年	10	10	10	10	11	11	10	9	9	7	8	8

食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	当期は、リサイクル率100%を維持できた。来期も継続して維持する。
・原材料発注量の精度アップ		○	
・加工ロスの削減		○	
・分別の徹底		○	
・焼成による減量		○	



水道水の削減(上水量)		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	当期は、洗浄時の節水に対する意識が向上し、目標と基準年の値をクリアすることができた。来期も未使用時の流しつ放しに注意喚起をするとともに、漏水箇所の早期発見に努め、水道水の削減に取り組む。
・節水弁取り付け		○	
・洗浄時の水の流し放しをしない		○	



取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	1,646	1,516	1,654	1,313	1,481	1,396	1,318	1,268	1,660	1,943	1,667	1,375
2023年	1,425	1,175	1,226	841	700	703	755	798	725	689	788	866

化学物質の適正管理		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・リスクアセスメントの実施		○	化学物質そのものの使用は無い。PRTR物質が含まれる洗剤について適正に管理されている。来期も引き続き管理精度を維持する。
・取扱い手順・ラベルの表示		○	
・取扱い手順の見直し		○	
・代替物質の検討		○	

改正後の 号番号	CAS番号 (参考)*1	物質名*2	別名*3	特定第一 種指定化 物質*4	元素等に換 算する化学 物質	改正前の 号番号*5	使用品名 (は密度)								
							食器用中性洗 剤 K90 (1.071)	マジックリン プラス 業務用 (1.007)	ケミフォーム (1.124)	オールクリー ナー (1.01)	オイルバスター (1.07)	クリームクレン ザーホーミング ザージフ	クリーミクレン ザーホーミング 業務用 (1.45)	かんたんマイ ペット業務用 (1.00)	サンニクス かび おどし
20	141-43-5	2-アミノエタノール				1-016	3.3%		1.5%	7.7%			01-1%		01-1%
30	-	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)				1-024	4.8%		1.3%			5.5%	2.8%		
224	1643-20-5	N,N-ジメチルデシルアミン=N-オキシド				1-166	2.1%	2.6%							1%未満
275	151-21-3	ドデシル硫酸ナトリウム					3.1%					1.0%			
407	-	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)				1-307				2.1%	2.5%	2.3%	3.4%		
409	9004-82-4	ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム					7.3%			1.2%					
462	126-73-8	リん酸トリーカルマールブチル				1-354									

## グリーン購入への取組

■ 照明器具の新規購入・更新時に グリーン購入適合品への入れ替えを検討する。

■ 社有車の次回入替時に、ハイブリッド車の導入を検討する。

環境に配慮した生産活動		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・不良率低減		○	毎月の経営会議において進捗状況の確認。ロスについては大きな削減は無かったものの、精度を維持できている。
・稼働率向上 (工程の圧縮)		○	
・顧客ご指摘削減		○	
・自販機入替による消費電力の低減		○	

## □工場の取組紹介

<本社・恵庭工場・札幌工場>



## □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（動植物性残さ、廃プラスチック、汚泥、廃油等）
食品リサイクル法	食品廃棄物（多量発生事業者定期報告義務）
容器包装リサイクル法	容器包装（前年度50t以上使用定期報告義務）
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁防止法	煮湯設備、洗浄設備
下水道法	除害施設
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
省エネ法	特定事業所
食品衛生法	飲食に起因する衛生上の危害の発生
北海道循環型社会形成の推進に関する条例	原材料・製品等が廃棄物等となることの抑制、循環資源としての循環的利用

環境関連その他の法律違反・訴訟等は、過去3年間ありません。

## □外部からの環境上の苦情・要請等

社外からの環境に関連する苦情や要請等は、ありませんでした。

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日: 2023年6月1日

当社は、私たちの企業活動そのものがCSRであるという考え方のもと、食糧資源や地下資源を大切に使い、豊かな自然環境を将来の世代へ継承することを責務と考え、環境負荷の低減に全社一丸となって取り組んでまいります。製造現場におけるムダを削減し環境負荷を低減する環境経営の取り組みこそが、経営力の向上に繋がり事業継続を具現化することであると考えております。

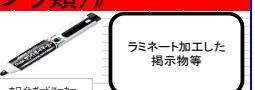
2020年4月からエコアクション21「環境経営システム」の取り組みを本格的に開始してから5年が経過しました。物価高による原材料費の高騰などいろいろな社会情勢の影響もあり、受注個数が減少したことで目標値に達しない項目もありましたが、生産の現場では節電・節水等の省エネに対する取り組みはもちろんのこと、日頃から取り組んでいるロスの削減も環境負荷の改善に大きく関わることへの理解が深まりつつあります。

環境経営システムを活用した「見える化」で、目標と成果が従業員にも明確に伝わり、目標達成に向けた行動の変化を感じ取れます。

また、十勝工場閉鎖に伴う生産集約により、更なる職場改善を実施することで、来年度も引き続き環境経営方針、環境経営理念、環境経営目標・経営計画の周知徹底を進め、従業員全員参加の下、環境意識の更なる向上を図り、環境負荷改善の目標を達成するための活動を実践いたします。

- |           |  |                               |
|-----------|--|-------------------------------|
| 環境経営方針    | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制他     | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |

## □これまでの環境活動の紹介

ゴミ分別一覧表 TRASH SEPARATION						
《産業廃棄物(紙類)》						
ラベル label	離型紙 Release paper	紙くず Waste paper	紙袋 Paper bag	紙箱 Paper box	紙パック Paper pack	
						
タオル Towel	マスク mask					
《産業廃棄物(プラ類)》						
手袋 Gloves	容器 Container	洗剤容器(40cm以内) Detergent container	ホワイトボードマーカー	ラミネート加工した掲示物等		
						
《生ゴミ Raw trash》						
ジャム Jam	フレッシュ cream	マヨネーズ・ケチャップ mayonnaise etc				
						
《ロスパン Ross bread》+《固体原料Solid waste》						
ロスパン Ross bread	パン粉、チョコ、チーズ、粉等の碎いて粉末状になるものは、 「固体原料」の台帳に捨てる 【例】Made into a powder crushed=Solid waste】	ソーセージ、ベーコン等の肉系 SAUSAGE, BACON etc	は、原料のみを大量に捨てる場合は、 「生ゴミ」の台帳に捨てる			
						
《廃棄ビニール Dirty vinyl》						
原料の袋 Bag	添加物の袋 Bag	ゴミ袋の紙袋以外 Other than paper bag	腕ぬき Arm cover	タフの袋 Bag	エプロン Apron	
						
《アルミ・鉄・ダンボール Aluminum Iron Cardboard》						
一斗缶 Can	アルミニウム case Alu	缶詰 Canning				
						
《産業廃棄物(油カス) Industrial waste》						
油カス oil dregs	洗濯を手綱のゴミ Waste of washing machine					

